

YIC 利用案内

行政相談 (毎月 第3日曜日)

13:00~16:00(要予約)



ビザ(在留資格)の申請・変更、在留期間の更新、永住申請、国際結婚、国際離婚、日本国籍取得、帰化申請など行政手続きに関する相談。

2025年度 相談日 (行政相談)

2025年 4月20日(日) 5月18日(日) 6月15日(日)
7月20日(日) 8月17日(日) 9月21日(日)
10月19日(日) 11月16日(日) 12月21日(日)
2026年 1月18日(日) 2月15日(日) 3月15日(日)

賛助会員

YICの活動にご賛同いただける賛助会員を募集しております。是非ご入会頂き、多くのご支援ご協力を賜りますよう、宜しくお願い致します。

◆年度会員制 ◆賛助会員特典あり

◆会費：個人一口 3,000円 団体一口 10,000円

生活相談

開館時はいつでも受付



生活で困っていること、日本文化で分からないこと、どこに相談すればいい分からないこと...etc.YICスタッフがうかがいます。

翻訳

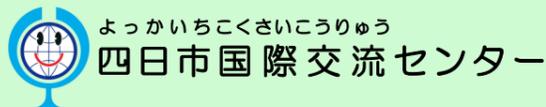
YICに登録するボランティア及び職員が、日本語から外国語、または、外国語から日本語への翻訳をお手伝いします。

◆翻訳料:1枚(800字程度)につき 2,000円

☆翻訳ボランティアは随時募集中です。どの言語でも登録できます。

日本語サークル利用者数 (令和6年3月~令和7年2月) 四日市市外国人人口数 (令和7年2月28日現在)

活動回数	ボランティア先生125人	学習者 435人	国籍	人数	割合	国籍	人数	割合
授業延べ回数	5,468回		ブラジル	2,494	19.1%	その他	4,242	32.5%
学習者地域別	アジア90%、南米5%、北米3%、EU1%、アフリカ1%		ベトナム	2,442	18.7%	総合計	13,041	4.26%
学習者在留資格別	就労関係65%、家族滞在12%、永・定住12%、配偶者7%、留学2%、その他2%		中国	1,345	10.3%	市総人口	306,008	
学習者年齢別	10代2%、20代57%、30代28%、40代11%、50代1%、60代1%		ネパール	1,268	9.7%			
			韓国	1,250	9.6%			
			上位合計	8,799	67.5%			



Yokkaichi International Center

〒510-0093 三重県四日市市本町9-8 本町プラザ6F

【TEL】059-353-9955 090-6572-9440

【FAX】059-355-5931

【E-mail】yic@yokkaichi-shinko.com

【URL】http://www.yokkaichi-shinko.com/yic/

【開館】9:00~17:00 (月曜日、祝日、年末年始は休館)



No.72/2025.4

発行
公益財団法人四日市市文化まちづくり財団
四日市国際交流センター
Yokkaichi International Center

令和6年度 YIC日本語サークル発表会

現在、約250人の外国人がYIC日本語サークルにて日々熱心に日本語を学習しています。令和7年3月23日(日)、日頃の学習の成果を8人の学習者が、母国と日本の生活・教育の違い・自身の夢などについてスピーチしました。家族・友人や日本人ボランティアら45人が聴講しました。



【ベトナムと日本の文化の違い】



発表内容はインターネットで調べて作りました。前は日本語に自信がなかったので発表に参加しようと思わなかったけど、チャレンジして満足しています。

【私のふるさと】



緊張しました。インドネシアの紹介をできてよかった。インドネシアの雰囲気を出すためにBATIK (パティック) を着ました。

【私の夢】



最初自信がなかったけど、スピーチしている途中に自信が持てるようになりました。自分の夢の話ができたから、とても嬉しいです。

【夢を見る力、叶える力】



自分のことを話す機会はありませんでした。とても良い機会でした。最初、叶えられない夢だと思っていたけど、日本語サークル発表会で自分の夢を話した後、本気になりました。

【夢に向かって一歩踏み出す】



本当はもっといろんなことを話したかったけど、仕事が忙しくて準備ができなかったので自分の話をしました。人前で話すのはやっぱり緊張しました。

【タイの文化と伝統】



緊張しました。あまり練習ができなかったのでパワーポイントを読みながらの発表となったけど楽しかったです。話したいことを伝えることができました。

【ミャンマーのお正月 ~ティンジャン水かけ祭り~】



嬉しかったです。緊張していただけ話しているうちにもっと話したい気持ちになりました。今日話せなかったことを、また話したいです。

【雨があとを洗い流す】



準備が十分じゃなかったから少し緊張したけど楽しかったです。♪雨があとを洗い流す♪の日本語訳は友だちと一緒にしました。

YIC日本語サークル

四日市国際交流センターでは、日本語ボランティアと外国人学習者が日本語を勉強する「YIC日本語サークル」を毎日開催しています。学習者のニーズに合わせてマンツーマンで勉強しています。

私のボランティア活動

私の日本語ボランティア活動

金森正樹さん(写真【右】 学習者：ピマルさん)

2023年12月から活動を始め、現在4人(ネパール、アメリカ、ベトナム)の生徒を担当。みなさんの一生懸命、日本語を学ぶ姿勢に嬉しくなります。気ままに思いつくままに授業を進めていますが、何より会話を楽しむようにしています。日本文化のこと、旅行の話題、お料理、風習など異文化を学ぶ機会もあり、彼らの日本での生活がもっと楽しくなればと一緒に学んでいます。ボランティア活動をきっかけに日本語教師を目指す決意ができました。



大好き!

浅尾正男さん(写真【右】 学習者：サンさん)

任期一年の自治会長を終えた昨年の4月からYICでお世話になっています。我が町の道路、上下水道などの工事現場でたくさんの外国人労働者の方とお会いし、この2月の拙宅の工事でもカンボジアからの2人の若者も来ていただき、今の日本の現実を痛感しています。現在ボランティアとして3人の若者と一緒に勉強していますが、学習を通してまるごとの日本、日本人を大好きになってもらえるよう、ひげじいさん、時にはお父さん、また時にはお兄さん(?)として、楽しい時間を過ごせたらいいなと思っています。

地球人として、共に

平田由美子さん(写真【右】 学習者：めいちゃん)



アフリカから帰国した25年前。現地交流での生きることへの感謝の想いを胸に、日本語ボランティアをスタートさせました。仕事で中断することが度々でしたが、生徒さんたちの学びに対する真摯な姿に支えられ、今日に至っています。日本語を学ぶ目標はそれぞれ違いますが、熱心に学ぶ生徒さんの姿には、いつも頭が下がります。日本での一人ひとりの願いがかなうように、心豊かな生活が送れるように、共に日本語の学びを重ねていきたいと思っています。

日本語ボランティアになって

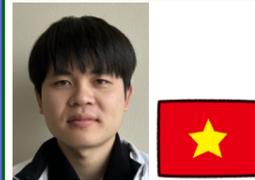
服部厚子さん(写真【右】 学習者：リンさん)

昨年4月、日本語ボランティアになった。活動開始後すぐ、私は「イ形容詞」などに戸惑い、「言葉」の壁ならぬ「日本語文法」の壁にぶち当たってしまいました。この文法は、かつて学校で学んだ「国文法」とは異なる背景を持つ(らしい)。ルールが違えば、世界も変わって見えてくるはずだ。かくして私は、ネパール出身のジャヤさん、ベトナム出身のリンさんの日本語学習にお付き合いしながら、驚きと気づきに満ちた楽しい日々を送っています。



学習者紹介

- ①なまえ
- ②国名
- ③日本に来ておどろいたこと
- ④日本語で好きな言葉



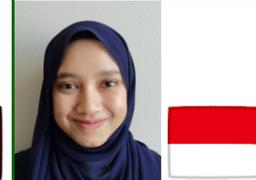
- ①ニャット ②ベトナム
- ③本国にいた時、日本の情報を収集していたのであまり驚きはなかったです。
- ④「自由」です。私達ひとりひとりにとって最も重要なことは自由意志、自分の力で選択する能力だと考えるからです。



- ①アン ②タイ
- ③日本に来て花粉症になりました。タイではありません。
- ④「ほらほらみてー。」の「ほら」。「あのさー」「これさー」と、伸ばす音。



- ①ナウン ②ミャンマー
- ③地震。日本に来てすぐに地震がありました。ミャンマーでは地震がありません。初めてのことでびっくりしました。
- ④「お疲れ様」ミャンマーでは使わなかった言葉です。



- ①シェツラ
- ②インドネシア
- ③雪が降ると全部真っ白になって本当にきれいです。
- ④「かわいい」日本人が私を見てかわいいと言ってくれるのでこの言葉が大好きです。



- ①リ ②中国
- ③日本では車は左側、中国では車は右側を行くところです。
- ④神隠し(かみかくし)「千と千尋の神隠し」のアニメの中の言葉。このアニメが好きです。



- ①ニサさん
- ②ネパール
- ③建物が高くて街がきれいなことに驚きました。
- ④ありがとうございます。すみません。



- ①ジョン ②韓国
- ③バスが決まった時間に到着します。量の部屋は冬は寒くて、夏は涼しいです。電車も多いです。
- ④私は24歳のとき鬼滅の刃のアニメを見ました。その歌も好きです。



- ①チャーリー ②アメリカ
- ③雪を初めて見たこと。夏がとても暑いこと。どこでも大体きれいなこと。エスカレーターの並び方習慣。
- ④お世話になります。ちゃうちょう。せええやな。



- ①レンゾ ②ペルー
- ③日本が戦争の後、短期間で発展しているのを見てすばらしいと思いました。
- ④「はい、喜んで!」仕事のときにこの言葉を聞くとうれしくなります。



- ①タイン ②ベトナム
- ③電車が時間通りになること。雪を初めて見たこと。
- ④「おはようございます。よろしくお願ひします。お疲れ様でした。」感謝の気持ちを表すことはとても大切だから。



- ①アスモロさん
- ②インドネシア
- ③たこやきがとてもおいしいです。
- ④「愛している。」彼女ができたと言いたいです。



- ①エステファニ
- ②ベネズエラ
- ③街路が静まり返り、とても静かで平和だったことです。
- ④「ごめんなさい」この言葉を使うことはあなたが教養のある人であることを示していると思います。



- ①ワン ②中国
- ③街にはゴミ箱がない。どこのトイレもきれい。清潔な状態が保たれている。
- ④「思いやり」思いやりは人間関係を維持することに大切なものだと思います。



- ①レベッカ
- ②アメリカ
- ③健康保険はすごく安いです。
- ④ちゅうしゃじょう(駐車場の漢字はおもしろい。えま(絵馬)の漢字もおもしろい。



- ①ピマル ②ネパール
- ③地下鉄のシステムは興味深く、驚きました。東京の地下鉄はパズルゲームのようです。
- ④「すごい」という言葉が、日本に来てからどこへいっても聞こえます。



- ①ショボン
- ②バングラデシュ
- ③日本はとてもきれいです。埃ぜんぜんありません。歩きながらタバコ吸いません。道渡るとき、皆さん並んで立ちます。
- ④ありがとう。沢山使っています。



- ①ニボン ②タイ
- ③冬に雨が降ることです。自転車に乗る人が多いこと。タイではバイクに乗る人が多いです。
- ④関西弁が好きです。日本のドラマを見て、イントネーションが面白いと思いました。すごく「日本っぽい」感じがします。



- ①ロゲル ②ペルー
- ③緑が多く、静かな場所が多いです。ラーメンと唐揚げとうどんがおいしいです。
- ④すみません。お願いします。お疲れ様です。頑張ってるね。



- ①ジュエルさん
- ②バングラデシュ
- ③日本の文化(伝統的だから)
- ④「ありがとう。大丈夫」ポジティブだから好き。

令和6年度 イベント

令和6年度は12回のイベントを開催し、約500人の方に参加していただきました。おもなイベントをピックアップしてご紹介します。新年度も、より多くの面白いイベントを計画しております。皆さんの継続的なご支援とご協力をお願いします。

【コーヒーブレイク】TRIO2024 2024年7月28日 参加者 65人



7月20日から8月7日まで四日市市に短期滞在していたアメリカ合衆国カリフォルニア州ロングビーチ市からの親善大使『TRIO』（教師1人、高校生2人）が、7月28日（日）故郷ロングビーチ市について英語で紹介しました。※ロングビーチ市は四日市市の姉妹都市です。TRIOの3人は、各自で発表内容を準備しました。緊張したのか早口でのスピーチになりがちでしたが、全員が無事に発表を終えることができました。中でも、高校生通訳ボランティアの5人は、質問の内容・回答、両方を日本語-英語で通訳するなど、語学力の高さに驚かされました。質疑の後は、TRIOの3人が参加者と談笑する姿も見られ和やかな雰囲気の中での交流となりました。午後に実施した交流会にも16人の方に参加いただき、TRIOとともに折り紙、四日市かるた、ピンゴを楽しみました。

【コーヒーブレイク】アメリカ・ロングビーチ 2024年8月25日 参加者 29人

本町プラザ 第一会議室でCoffee breakアメリカ・ロングビーチを行いました。四日市市の姉妹都市 アメリカ合衆国カリフォルニア州ロングビーチ市出身の、YEF（四日市市英語指導員）ロス ニコラス ディーンさん（通称ニックさん）を講師に迎え、英語でロングビーチ市について紹介していただきました。パワーポイントの資料を中心に、「ロングビーチと四日市の共通点」「日本とアメリカの教育の違い」など、非常に凝ったスライドを作成していただきました。また、質疑応答にも丁寧に答えていただき、講演後も参加者の方々と写真を撮るなど好評でした。



人権講座「ネパール」 2024年9月29日 参加者 52人



四日市市内の英語教室で一年間インターンシップをされたサリータ・バディさんに、出身国ネパールのカースト制度やバディ民族について英語でお話ししていただきました。また通訳は、サリータさんのホストファミリーでもあり、バディ民族の支援をされているゴスペルエイド 三重代表のウィリアムズ ゆりさんが行ってくれました。今でも根強く残る階級制度のことや、バディ民族の生活環境、仕事をしたくても雇ってもらえない現状などを、写真を紹介しながら詳しくお話ししていただきました。毎日食べるものにも困り、不本意な方法で収入を得なければならない状況に陥っている女性たちを救出し、児童養護施設で保護する活動についても紹介いただき、非常に勉強になった人権講座でした。

【コーヒーブレイク】ワシントンD.C. 2024年10月12日 参加者 37人

1階ホールでCoffee Breakアメリカ・ワシントンD.C.を行いました。ALT（外国人指導助手）として働き、YICで日本語を学習しているベイリー・キャメロン・ガブリエルさんを講師に迎え、英語でワシントンD.C.の魅力をお伝えしていただきました！国会議事堂やホワイトハウスなどの国を象徴する建物や有名な美術館、また、イベントやスポーツチームなど、写真で紹介しながら説明していただきました。最後に、講演の内容をクイズ形式で復習して参加者の理解が非常に深まりました。質疑にも丁寧に答えいただきました。



【国際理解講座】移民について～ブラジル～ 2024年11月24日 参加者 25人

三重県国際交流員（CIR）で日系四世の ハシモト マリナさんを講師に迎え、ご自身のルーツやブラジルの国旗の意味、ブラジルの都市などについてお話しいただいた後、日本からブラジルに渡った移民政策についてお話がありました。当時の日本は不況と人口増加で日々の食生活にも困る状況だったのに対し、ブラジルでは広大な土地を活かして農業が盛んで人手不足だったことから、ブラジルへ移住することを決めた方がたくさんいらっしゃったそうです。ちょうど日本の高度経済成長期に、人手不足で中南米の日系人の方々が日本に働きに来たのと同じことがあったのだと気づかされました。最初は大農場で働きながら、次第に自立される方が多くなり日系コミュニティが築かれるほどになりました。最後に、グループで意見交換をしました。テーマは「日本からブラジルに渡った人たちは、いったいどんな気持ちだったのか」「日本とブラジルの絆はとて強く、今後この関係を大事にしていくために何ができるか」と、皆で考えることができた、素晴らしい講演となりました。



【国際理解講座】ドミニカ共和国～JICA海外協力隊活動を通して～ 2024年12月15日 参加者 25人

JICA海外協力隊員としてドミニカ共和国で教育行政に携わり、現在YICで日本語サークルボランティアをしている、橋本真人さんを講師にお迎えして、ドミニカ共和国やJICA海外協力隊活動の魅力をお話ししていただきました。参加者の中には、来年ドミニカ共和国へ派遣される方や、以前同国で活動された方、JICA海外協力隊OBの方方もいらっしゃり沢山の質問が寄せられました。橋本さんは、ドミニカ共和国のエスプレッソメーカー「グレカ」で淹れたコーヒーと日本のコーヒーを用意してくれ、飲み比べをしながら楽しむ講座となりました。



書道体験 Calligraphy Experience 2025年1月26日 参加者 20人



YICの日本語学習者を対象に『書道』の体験を行いました。ご指導いただいたのは、日本語ボランティアの大宝美子さんで、ご自身でも書道教室を開催されています。当日は、お手本となる文字をご用意いただき、学習者はその意味を聞いて、自分で書く文字を決めていました。結構難しい文字でも、何回も練習を繰り返し、最後には色紙に書きました。書き終わると、とても満足そうに笑顔があふれていました。きっと部屋に飾っていただいているでしょう。

節分を味わえる国際交流茶会 2025年2月9日 参加者 106人



本町プラザで「節分を味わえる 国際交流茶会」を開催しました。前日から市内は大雪となりイベントの開催が心配される中、お箏の演奏会やお抹茶体験に、日本語学習者をはじめボランティアの方々など約100人の方々に、ご参加いただきました。お抹茶体験では『正座』も体験することとなり、足が痛くて正座ができない学習者もいたようです。それでも、みなさん日本の伝統的な文化を堪能していただいたようで、緊張しつつも満足そうな笑顔が印象的でした。お箏、お抹茶、着物の着付け、と、ご協力をいただいたみなさん、どうもありがとうございました！&引き続き、よろしくお願いたします！！

令和6年度 外国語講座



令和6年度の外国語講座は、3期にわけて、英語・韓国語・スペイン語・ポルトガル語・中国語・ベトナム語・タイ語の講座を行い、293人が受講しました。新年度も、引き続き3期に分けて市内に住む外国人市民の母語を学習する機会づくりに努めます。

2024ロングビーチ・トリオ受入れ

四日市国際交流センターでは、四日市市からの委託を受け、姉妹都市米国ロングビーチ市から高校生2人と教師1人の計3人（通称「トリオ」）を7月20日から約3週間受け入れました。トリオの滞在中にはホストファミリー、ボランティア通訳の方々をはじめ学校、企業など多くの市民の皆さんに協力をいただいて、いろいろな交流事業を実施しました。

トリオのプロフィール



（左から）カイリーさん、グリニスさん、
キャメロンさん

- ◆グリニス バジエット Glynis Badgett
教師（アイリッド エクスプロレイション
チャーター スクール）
ハイキング、旅行、写真撮影、美術鑑賞、読書
- ◆カイリー ミワ マック Kylie Miwa Mack
高校生（ミリカン高校）
ガールスカウト活動13年以上、ピアノ、テニス、
読書、日本語学校にも通う。
- ◆キャメロン マリー ニコル
Cameron Marie Nichol
高校生（ヴァリークリスチャン高校）
サッカー、クラリネット、読書、ハイキング、
日本人学校で日本語学習中。

交流のようす



トリオとKUNI-KENさん（グリル四日市）



市長・議長表敬訪問（四日市市役所）



合気道体験（海星高校）



茶室での茶道体験（泗翠庵）



書道体験（四日市高校）



四日市萬古焼湯呑みづくり体験
（じばさん）

トリオ事業とは…

四日市市は、1963年にロングビーチ市と姉妹都市提携を結び、1965年から隔年相互に高校生2人と教師1人を夏季に約3週間派遣し、一般家庭でホームステイしながら市民の皆さんと交流しています。コロナ禍の影響を受け、一時相互派遣を中止していましたが、2023年、四日市市からの派遣が再開し、2024年はロングビーチ市から受入れることとなりました。

今回の受入れでは、ホストファミリー6家庭、ボランティア通訳7人、高校生ボランティア10人をはじめ多くの市民の皆さんに協力をいただき、彼らは高校や企業訪問、日本文化や地場産業の体験などを通じて、親善大使として交流を深めました。



日永うちわづくり体験（稲藤）



味の素株式会社見学（味の素）

ご協力いただいた皆さんからの声 ホストファミリーから

- ・あつという間の10日間で短く感じました。前半で仲良くなってきたころのお別れで少し寂しく思う面もありました。
- ・名残惜しかったですが、程よいくらいだと・・・。
- ・英語はうまく話せなくても、話したい、伝えたい、という思いがあれば、いろいろな手段を使ってコミュニケーションは取れるものだ改めて感じました。
- ・たこ焼きやお好み焼きを一緒に作って食べたり、日本らしい食生活も無理のない範囲で楽しんでくれていました。
- ・子供達がとても喜んでる姿を見て嬉しかったです。特に次女が拙い英語で一糸懸命にコミュニケーションを取る姿に感動しました。
- ・子供達には良い影響があったと思います。良き学び、良き思い出になったのではないかと思います。

高校生ボランティアから

- ・英語での会話、英語を聞いて英語で返すことには慣れていても、日本語を聞いて英語、英語を聞いて日本語は、思ったより簡単ではなく、意外とすらすら訳すことができないと気が付きました。日本語の意味を汲み取り訳さないといけなかったり、全く同じ意味の単語がなかったりと、わかっただけではいざ実践してみると手間がかかる。でも、良い経験になりました。
- ・同世代の海外の生徒と交流することによって、違う国で過ごしても、会話が通じて仲良くできることを感じました。
- ・英訳するには、英語以外の歴史、背景が必要とされると感じました。また日本語は時と場合で使い方が変わるので、他の先生方の訳を聞いて非常に参考になったし、刺激になりました。
- ・日本と違った文化を持っている人達と交流するのはとても楽しいことだと改めて感じましたし、もっと外国の方達と話す機会を増やしていくべきだと思いました。
- ・トリオ事業はトリオの皆さんにとっても高校生通訳にとっても異文化交流ができ、四日市市を知る良い機会だったと思います。学校ではできないような貴重な経験でした。

「四日市市国際交流基金」へのご寄付のお願い

「四日市市国際交流基金」は、四日市市の国際性と市民の皆様の国際感覚を高めることを目的とし、姉妹都市・米国ロングビーチ市や友好都市・中国天津市との青少年の交流事業などに活用しています。基金の趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をお願いします。

【問い合わせ】四日市市秘書国際課

☎059-354-8097

